

2026 年度 一般・共通テスト利用・プラス入試（前期） ②
（造形学部 造形学科）

2026 年 1 月 31 日（土）実施

実技試験「鉛筆デッサン」（90 分）

■実技課題 —想定デッサン—

試験および試験場での諸注意

- ・机、椅子などは許可なく移動させることはできません。
ただし、作業行うにあたり不都合が生じた場合は、速やかに監督者に申し出て、その指示に従ってください。
- ・座席から離れて自分の作品を見たり、立って確認したりすることは認めません。他の受験生の迷惑にならないよう、確認などは着席のまま行ってください。
- ・試験時間内の退室は、原則認めません。途中トイレや気分が優れないなど、やむを得ず退出する場合は、その旨を監督者に告げて許可されてから受験票を預けて退出してください。退出後は係員の指示に従ってください。

問題は裏面へ

<想定課題文>

あなたの目の前に違う素材でできた三角柱と円すいが1つずつあります。それら2つの立体は1つが地面に接地し、もう1つは空中に浮いています。

その様子を自由に想定して鉛筆デッサンしてください。想定したモチーフに当たる光の方向は自由ですが、光は柔らかな自然光とし、それによってできる影も描くようにしてください。

<条件>

- ・ 立体の大きさや素材(質感)は任意とします。
- ・ 背景は紙の白のままで、空間としてください。
- ・ 紙はB 3 M画用紙で、縦・横位置での使用は自由です。
- ・ 立体の入れ方や構図は自由です。
- ・ 試験時間は90分間で、試験開始と終了は監督者の合図に従ってください。
- ・ 下描きが必要な場合は、与えられたA3コピー用紙を使用してください。

<注意>

- ・ 出題の内容に関する質問にはお答えできません。

以上